

マルトミです

8・9月号 (隔月刊)

日ごろのご愛顧に心より御礼申し上げます。



お知らせ

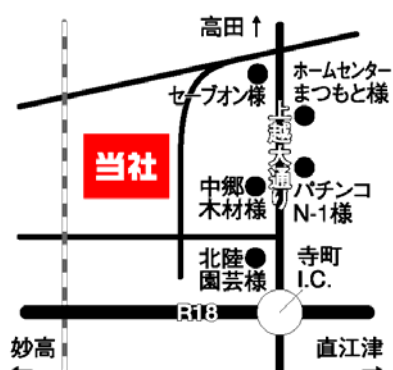
- ☆ 8月は13日(金)～16日(月)を夏期休業とさせていただきます。
なお、その後 秋の農繁期中は休日も休まず営業しますので、どうかよろしくお願ひ致します。
- ☆ 8月より、店舗ショールームでは、一足早い除雪機の展示を始めました。早いほどおトクな除雪機御予約セールにぜひお出かけ下さい。
- ☆ 6月から当社の部品窓口の体制が変わりました。これまでの専任担当制から総務部 3名による総力体制に移行し誰もが対応できるようにしたもので、移行当初は若干ご迷惑をおかけする場面もあったかと存じますが、2ヶ月が経過しスムーズに対応できるようになりました。皆様の部品のご注文をお待ちしています。
- ☆ 店舗の大水槽の生き物がたくさん増えてにぎやかになりました。メダカ、ドジョウ、タニシ、スジエビなどが元気にくらす、懐かしい水辺の景色をぜひご覧下さい。

マルトミカレンダー (8月 ~ 10月) 赤色は休業日

8月							9月							10月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4						1	2
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23
29	30	31	26	27	28	29	30	24	25	26	27	28	29	30						
							31													

※ 13～16日 夏期休業

※ 16・17 商談会



新潟県認定農業機械整備工場(大)・ホンダ ベスト特約店
厚生労働大臣認定ヤンマー整備士のいるお店

株式会社 マルトミ

本社: 上越市西田中236-9(企業団地内)

TEL(025)524-1181 FAX(025)524-1184

E-mail: info@maru-takada.com

ホームページ [http:// www.maru-takada.com](http://www.maru-takada.com)

大雪になった翌年は、除雪機が早く売切れがちです。ご希望に合った機種をお得な条件で確実に入手できるこのチャンスをどうかお見逃しなく。

除雪機御予約セール実施中

当社では、実際に除雪される場所を拝見したり、使用される状況をお聞きしながら、ご希望にあった機種をご提案させていただきます。もちろんアフターサービスもおまかせ下さい。

除雪機は高価なお買い物ですから、必要以上に大きなものを買ってしまったたり、反対に小さすぎて使えなかったりということなどが起こらないよう、どうかお気軽にご相談下さい。

また中古除雪機につきましても、ご希望をお聞かせいただければ、優先的にご案内いたします。

＜おススメ一例＞ 他にも ホンダ・ヤンマー・ヤマセなど豊富な機種があります。資料ご請求下さい。



ホンダHS760JSE
(7馬力) 幅60cm
~~312,900円~~

昨年新登場の手軽な除雪機。御買得タイプです。



ホンダHSS970i
(11馬力) 幅70cm
~~522,900円~~

小型ながら中型機並のパワー。サイドクラッチ付なので女性でもらくらく扱えます。



ヤンマーJT-1090D,EL
9.3馬力 幅90cm
~~949,200円~~

空冷ディーゼルエンジン搭載。中型機でディーゼルはヤンマーだけです。



ヤンマーYSR2740
26.5馬力 幅122cm
~~2,887,500円~~

ヤンマーの強力ディーゼルエンジン搭載。ディーゼルの断然ヤンマーです。

※()の馬力は以前のホンダのグロス表示値です。

お客様訪問記

上越市 白馬理容室 原 修次 様

原さんは、上越市内で奥様と理容院を経営しておられます。現在圧倒的な人気を誇るホンダハイブリッド除雪機の最初の機種 HS1390i が初めて登場した2001年、真っ先にご購入いただきました。それまでお使いの8馬力の除雪機ではお客様の駐車スペースを確保するのに時間がかかるということで更新されたのですが、その結果、「どんなに雪が積もった日でも、5 台分の駐車スペースがわずかな時間でらくらく確保でき、とても助かっています。」とのことで、また、ハイブリッド除雪機が出た当時、電気系統の故障を心配される方もいましたが、「最初から心配していなかったし、実際これまでも故障らしい故障はありません」と、嬉しい言葉をいただきました。



白馬理容室、場所はちょっと目立たない所がありますが、お二人の技術とお人柄でお店はいつも繁盛しています。皆さんもぜひ御利用下さい。 [こちらです](#)→上越市北城町 3-17-7 TEL(025)525-6884



マルトミ感謝祭への御来場、誠に有難うございました。

7月10・11日に開催したマルトミ感謝祭に、今回も大勢のお客様がご来場下さいました。本当に有難うございました。

会場では、秋農機と今がシーズンの草刈機関係に関心が集まったほか、一足早い除雪機ご予約セールにも多数の御成約をいただきました。



また、恒例となった三条の職人さんたちによるクワ・刃物の修理コーナーや日曜日限定のみどりの市場を楽し



みにお出で下さる皆さんも年々増えて来ています。

次回もどうかよろしくお願い致します。

マルトミのホームページがリニューアルしました。

当社のホームページ、スタートはけっこう早かったのですが、その後の更新がずうっとできていなくて、半分死んだ状態になっていました。今回、内容を大きく変えて、速報性を高めるとともに、中古情報などもこまめにアップするようにしました。リニューアルなったマルトミのホームページをぜひご覧下さい。 [http:// www.maru-takada.com](http://www.maru-takada.com)



西田中公園バタフライ・ガーデンのいまの様子

調べたら、去年の今頃も同じようなことを書いていましたが、ブッドレアの花が咲き始めたバタフライ・ガーデンに、この夏もほとんど蝶がやって来ません。それはここだけのことでなくて、夏になって毎週のように行っている各地の自然観察会で注意して見ても、驚くほど蝶の姿が少ないのです。

思い返せば、今年は春から異常でした。冬の大雪と春の寒さのせいで多くの生き物がダメージを受けたのは確かで、それが今も響いているのかもしれない。ただ、昆虫の場合は他の大型の動物たちとは違って、



やっと見つけた蝶 キタテハ

一時的に数が減ることがあっても、環境が変わるとまた一気に回復したりするので、その都度一喜一憂する必要はないと思います。いずれまたここで、たくさんの蝶たちがにぎやかに飛び回ってくれることを期待しています。

カメノコハムシとジンガサハムシ

前々回のこのコーナーでトゲトゲのことを書きましたが、今回もそれに近い仲間のカメノコハムシをご紹介します。

カメノコハムシはトゲトゲと共に、ハムシ科の中で小さなグループを構成しています。現在までに日本から6属25種類が知られ、そのうち半分くらいは上越でも普通に見ることができます。カメノコハムシ(亀の子葉虫)という可愛い名前のおり、丸くて平たい体がトレードマークですが、25種類のうち7種類はカメノコハムシではなくジンガサハムシという名がつけられています。ジンガサは「陣笠」で、これもこの虫の特徴をよく表していますが、「亀の子」と違ってちょっといかめしい感じがします。それでは、カメノコハムシとジンガサハムシはどこが違うのかというと、分類上の違いはありません。同じ属の中にもカメノコがいたりジンガサがいたりするので、一見、命名者の気分で適当につけられているようにも思えます。でもよく見てみると、一部例外はあるものの、ハネに透明な部分のある種類にジンガサハムシ、そうでない種類にカメノコハムシの名がついていることがわかります。

ジンガサハムシは、甲虫なのにハネが透明というだけでも充分に変わった存在ですが、もうひとつ、色彩がとても美しいのです。種類によって体が黄金色に輝くものや、黒い背中に金色のXマークが浮き出すもの、暗紫色に金緑色のラインがキラキラ光るものなど、その美しさは数ある甲虫の中でもトップクラスです。それほどすごい虫なのにあまり人に知られていないわけは、ひとつには全長4~9ミリというそのサイズにあります。もうひとつは、この美しさが生きているとき限定ということです。どうやらジンガサハムシの輝きには体内の水分が関係しているらしく、標本にすると大体1日くらいでスッと消えてしまいます。ですから、他の色鮮やかな昆虫たちのように標本展で人目を惹く存在にはなりえないのです。

というわけで、ジンガサハムシの美しさを体感するには、実際に彼らがすんでいるところに行ってみるしかありません。幸いに、代表的な種類であるジンガサハムシは別に珍しいものではなく、林の縁や空き地に生えているヒルガオを探して、丸い穴がたくさん開いている葉があったら静かに裏返してみると見つけることができます。ついでに、近くにアザミがあったら葉の表面をよく見てください。カメノコハムシの中で一番普通に見られるアオカメノコハムシがくっついているかもしれません。

(ミ)



ジンガサハムシ 撮影：今村美由紀



セモンジンガサハムシ 撮影：今村美由紀